



鳥取市総合教育センターだより

第4号 令和6年12月13日発行

〒680-0053
鳥取市寺町 150 番地
TEL 0857-36-6060
FAX 0857-26-3878
E-mail
kyo-center@city.tottori.lg.jp

学びをつなぎ、磨く

所長 中村 礼子

先日開催された鳥取市「栄養教諭・学校栄養職員研修会」（学校保健給食課主催）で、食育に関する指導案づくりのワークショップがありました。研修後の振り返りには「授業づくりについて、人の考えや意見を聞くほど学びになることはないと感じた。自分になかったアイデアを知ることができ、自分も考えたことをまとめて伝えることで、成長できたと思う。これからの指導方法を少し変えていこうと思う。」「1人だと思いつかないこともグループで話し合いすることで様々なアイデアをいただき、吸収することができた。新たな発見がいくつもあった。次に生かしたい。」といった感想が多くありました。

児童生徒にとっての「食育」の意義を改めて確認するとともに、栄養教諭・学校栄養職員がもつ専門性の効果的な生かし方について意欲的に学ぶ姿に触れ、ここにも学校の応援団がいることを改めて有難く感じました。

「初任者研修」や「講師研修」でも、参加者は実に積極的に学び、自らの言葉で語り、意見交換しました。そこには、教科横断的な視点とともに、学校内外の人的資源も視野に入れた学習活動のアイデアが満載でした。年度末に向けて、各学校・中学校区研修会などで1年間の研修を振り返る場が設定されることと思います。振り返りを通して、児童生徒にかかわるさまざまな人材のアイデアについても情報共有し、効果的なものはカリキュラム・デザインに生かしていくことで、ますます鳥取市内各小中義務教育学校における魅力ある学校づくりが促進されると思います。

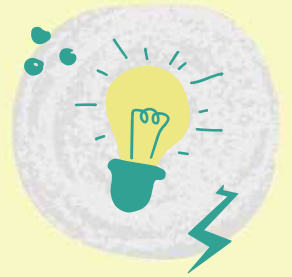
鳥取市総合教育センターが実施する、中核市7年目となる今年度の「教職員研修」は、12月ですべて終了します。研修の場が、教職員一人一人の学びをつなぎ磨く機会となり、明日からの授業づくり・学級づくり・学校づくりに展開されていくことを期待しています。



初任者研修の様子

中堅教諭等資質向上研修 学校訪問より

鳥取市では、採用11年目を迎える中堅教諭を学校の中核と位置付けて教職員研修を実施しています。鳥取市の中堅教諭等資質向上研修は、「校外での集合研修」「企画選択研修」「授業実践」「課題研究」「実践発表」「指導主事による学校訪問」で構成されています。今回は、受講者が地域や学級の枠を飛び越えて、体験を通して学んだ「企画選択研修」の様子についてご紹介します。



保育体験

この体験は、保育体験を通して、園児の実態や指導者のかかわり方から学び、今後の教育活動に生かすことを研修のねらいとして実施しています。

【体験談】

- 地域の幼稚園で遊びに参加させていただきました。先生方が、子どもたちにつけたい力をもとに指導案を作成しておられました。一人ひとりにきめ細やかな支援をしておられる様子を見て、スムーズに小学校と接続できるようにしたいと思いました。
- 保育園で年長児の様子を見させていただきました。思っていた以上にできることがたくさんあり、頼りにされていました。教職員で共有し、小学1年生に入学したときに、そのことを念頭に指導支援をしていきたいと思いました。



地域貢献体験

この体験は、地域での行事等の体験を通して、地域との連携や人との関わりの重要性を理解し、自校の教育活動に生かすことを研修のねらいとして実施しています。

【体験談】

- 公民館との打合せをする中で、地域の学校に対する期待を感じました。地域の祭りに参加し、運営の手伝いをさせていただいたことで、いろいろな地域の方と知り合うことができ、この出会いを生かして、今後、学習への協力等をお願いしたいと考えています。今後も協力できることがあればしていきたいと思いました。
- 地域の祭りにスタッフとして参加させていただきました。地域での子どもたちの様子を知ることができました。また、保護者や地域の方が声をかけてくださり、参加してよかったと思いました。このような機会がなければ体験できないことだったと思います。いい経験になりました。

指導助言体験

この体験は、授業研究会等で指導助言を担当することで、学習指導の専門的知識・技能の向上を図ることを目的としています。

【体験談】

- 若い先生の指導助言を行うため、指導案作成の段階から相談に乗りました。教材研究の方法や発問の精選など、いろいろな視点で話し合うことができ、自分自身も学ぶことができました。研究授業の日は、これまでの授業研究会とは緊張感が異なりました。これから、自分の専門性を磨きたいと思いました。



中堅教諭の先生方は、体験活動を通して、保育の様子や地域の活動や思いに触れ、学校が様々な人々に支えられていることを実感したり、学校の外から自校や自身の取組について考えたりするきっかけになったようです。

研修企画係では今後も、中堅教諭が中核となり、OJTを意識して、学校の教育活動に体験での学びを積極的に生かしていくと期待しています。

■ ふるさとを大切にし、志をもつ子どもを育てます。

本市では、教育ビジョンのめざす子ども像「ふるさとを思い 志をもつ子」を育成するため、中山間地域農山村での生活体験を行い、子どもたちに豊かな人間性や社会性を育むとともに、ふるさとの自然や文化のすばらしさやそこに暮らす人々の温かさを心の原風景として刻み込むことを目的として、平成21年からこの事業を展開しています。本年度で16年目を迎え、延べ約9千名の児童が体験活動を経験しました。令和6年度は11校の小学校が佐治町で民泊体験活動を実施しましたので、その様子をお伝えします。



座禅体験



魚のつかみどり体験



佐治谷話体験



紙すき体験

児童は「五しの里さじ地域協議会」による体験プログラム(座禅体験・魚のつかみどり体験・佐治谷話体験・紙すき体験・林業体験など)を佐治地域住民の協力のもと体験しました。農山村暮らし体験(民泊)や文化・伝統にふれる体験活動を通して、豊かな自然の大切さや、ふるさとの文化や伝統を守る地域の方の思いにふれることができました。また、集団生活を通して自律することや協力し合うことの大切さを学び、さらに感謝の気持ちを育むことができました。

児童アンケートより ～意識の変容～

質問項目	実施前	実施後	変容
山間（佐治地域など）に暮らす人たちに関心がありますか。	67.8%	79.5%	+11.6%
鳥取市は好きですか。	90.0%	92.2%	+ 2.2%
今住んでいる地域の行事に参加していますか。	62.3%	64.6%	+ 2.2%
地域や社会で起きている問題や出来事に関心がありますか。	54.5%	61.6%	+ 7.1%
家の人と学校での出来事について話をしていますか。	70.6%	74.4%	+ 3.8%
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。	71.0%	77.1%	+ 6.1%

体験活動を実施する前と後に児童対象のアンケートを実施し、児童の意識の変容を確認しています。アンケート結果では、この体験活動を通して自分が住んでいる地域や社会で起きている問題や出来事に関心を持つ児童が増えています。そして初めての体験にチャレンジし、満足できた児童が多く見られました。その結果、新しいことにチャレンジしてみようとする意欲も高まってきたことがうかがえます。また、体験活動を通して家庭内で学校での出来事について話をする機会が増えています。家庭内の会話の促進という側面でも成果が見られます。鳥取市教育委員会では、児童生徒交流事業の1つとして来年度も本事業に取り組む計画です。

【児童の感想】

- ・いろいろな体験をして、今まで知らなかった佐治のよさに気づくことができました。
- ・これからは今まで以上に生産者の方々に感謝して給食を食べたいです。

【保護者】

- ・はじめての宿泊学習で心配しましたが、帰って来てからいろいろなことを教えてくれて、たくさんの成長を感じられました。
- ・民泊家庭の心温まるおもてなしがうれしかったと、帰宅後すぐに話してくれました。普段学校のことをあまり話さない子が、学んだこと等をたくさん話してくれて嬉しかったです。